

景況実感調査(12月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 11月の荷動き減を引きずったままで、特に大きな変動はなし。
- ② 稼働日も少なく冴えない年末となった。原油安、スクラップ安と、市況を下支えする材料はメーカーの姿勢ばかりで、荷動き(実需)も、店売り分野では職人不足もありパツとしない。総選挙も終わり、長期政権下での構造改革の実行や地方活性化の具体的なメニューや、経済対策の補正予算の実行が待たれる。今年度(27年3月期)決算は、減収減益となりそうだ。
- ③ 年明け後も需要は大きく改善しない方向にあり、市況低迷が続くと思われる。
- ④ 荷動きが落ち込んだまま1年を終えたが、明るい兆しは全く見えない。需要はあると思うが、店売りの環境に変化を起こすほどでもなく、それ以上に供給面は潤沢であるが故、在庫は過多となっている。

中板

- ① 店売りについては、低調な商いが続いている。年明けも大きな変動はないと思われる。小ロット、即納で運賃コストが増えている。

厚板

- ① 建築土木案件は人手不足にて、工期の延期や中止が散見される。

— 舟型鋼

- ① 全体的に職人不足で、建築現場がうまく回っていない。
- ② 前月と営業日数は同じだが、各指標は「やや減少」が多い。一年前はトラック不足で往生したが、今年は足りているようだ。ゆとりを持った営業とデリバリーが「やや減少」とさせていると思われるが、先行きに不安はない。

EH型鋼

- ① 前月に引き続き稼働日数が少ないが、荷動き自体は悪くなく、遅れ気味であった物件が動き始めていると思われる。
- ② 市況に大きな変化はないというより、下げられない水準まで来たというべきであろう。需要も変わらず、この閉塞感を変えなければいけない。

異形棒鋼

- ① 荷動き不振で厳しい環境が続いているが、メーカー動向(状況)から判断して市況維持に努めている。一部報道で、市況の率先値下げ記事があるが遺憾である。

平鋼

- ① 12月も荷動きは横這いで推移。稼働日が少なく、月量では落ちるが、日量では横這い。選挙の影響もあり、建築関係の新規の物件がストップし、建築関連の荷動きは落ちているが、先々の予定もあり大きく落ちることもないが、1月に入っても状況は変わらない。

車量形鋼

- ① 出荷品種の変化から、マンション需要から野丁場が変わってきているようだ。
- ② 底値に対するテコ入れから、徐々に販価は上向くも、大掛かりな値上げムードは創り出されておらず、今後の交渉難航が懸念される。

鋼管

- ① 荷動きは11月以降、前年比マイナスで推移。
- ② 日数が少なく、また日当たり重量も若干落ちている。さらに道路が混んでいて配送が大変だ。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品はKD輸出が下支えとなっているが、国内生産が販売減により、メーカーによっては下方修正されており、全体的に減少傾向となっている。建設機械関連は、中小機種は比較的堅調となっているが、1～3月はやや減少の計画となっており、先々も不透明である。また、工作機械、一般産業機械関連は底堅い動きが続いている。店売りの荷動きには大きな変化はなく、横這いの動きが続いている。市況は横這いで推移している。
- ② 紐付きに関しては前月に比べて多少持ち直したものの、店売りは減少しており、環境は厳しい。年明け以後の動きも不透明であり、見通しは難しい状況。

その他

<曲げ加工>

- ① 今月は暮れに入っていくらか稼働日数も少ないせいもあり、昨年同月及び先月より加工売上は大幅に減少した。特に全般的に物件数が少なかった。まだまだ中小企業に潤いは回ってきてないようである。

<スクラップ>

- ① 市中屑発生減にもかかわらず、相場は下がり続け、年末の忙しさは例年に比べあまり感じられなかった。

<金属表面処理加工>

- ① 12月は紐付き、物件物ともに計画通りの扱い量となる。スポットも前月同様に高位安定。高付加価値仕様が増加し、平均単価も上昇。1月以降も紐付き、物件物を中心に安定操業を維持出来そうである。